

## 令和元年度第2回宮城県介護人材確保協議会の開催について

～令和2年度の介護人材確保施策を村井知事が発表します！～

県における介護職員数は、令和7年度には39,635人が必要と推計され、介護職員の不足人数（需給ギャップ）は4,755人と見込まれることから、将来も見据えた介護人材の確保対策が重要となっています。

このため、県では、令和2年度から緊急かつ大胆な介護人材確保対策に取り組む予定としており、その内容については、宮城県介護人材確保協議会において村井知事が発表しますので、報道機関の皆さまにおかれましては、ぜひ取材してくださるようお願いします。

### 記

1 日時 令和2年2月13日（木曜日）午後1時30分から3時30分まで

2 場所 宮城県庁行政庁舎4階 特別会議室

3 出席者 宮城県知事 村井 嘉浩  
宮城県老人保健施設連絡協議会長  
宮城県老人福祉施設協議会長  
仙台市老人福祉施設協議会長  
特定非営利活動法人宮城県認知症グループホーム協議会長  
一般社団法人宮城県介護福祉士会長  
宮城県介護福祉士養成施設協議会長 など

### 4 スケジュール

13:00～ 【マスコミ受付】

13:30～13:35 【開会、あいさつ】

13:35～14:00 【介護人材確保対策緊急アクションプラン事業について（知事）】

- ・宮城県介護職働き方改革応援宣言プロジェクト事業
- ・海外現地機関との直接連携事業
- ・介護イメージアップ事業

※14:00（知事退席）まで取材可能です。

14:00～15:30 【議事、報告、閉会】

## 参考

### 1 宮城県介護人材確保協議会について

平成26年6月に、県内の行政・介護関係団体を中心に設立し、現在は18団体で構成している介護人材の確保・定着を目的とした協議会。

宮城県地域包括ケア推進協議会の介護人材確保専門委員会の位置付けを兼ねる。

具体的な取組は、下記の3つの部会において検討の上、実施している。

#### 【部会での主な取組内容】

##### ① 情報提供・啓発部会

- ・介護の魅力向上の取り組み（映像ツール、パンフレット作成、職場体験、メディアを利用した周知等）
- ・イベントの実施（介護の日イベント及び今回の合同入職式の開催）など

##### ② 人材確保・定着部会

- ・県内各地での研修実施（新人職員育成支援、中堅職員キャリア育成、施設管理者を対象とした研修等）
- ・合同入職式の開催（再掲）

##### ③ 職場環境改善部会

- ・介護事業所の人材確保・定着の取組に対する認証制度「介護人材を育む取組宣言認証制度」の検討・実施など

#### 構成団体（18団体）

公益財団法人介護労働安定センター宮城支部、仙台市老人福祉施設協議会、東北福祉大学、一般社団法人宮城県介護福祉士会、宮城県介護福祉士養成施設協会、公益社団法人宮城県看護協会、宮城県市長会、社会福祉法人宮城県社会福祉協議会、一般社団法人宮城県社会福祉士会、宮城県生活協同組合連合会、宮城県町村会、特定非営利活動法人宮城県認知症グループホーム協議会、宮城県老人福祉施設協議会、宮城県老人保健施設連絡協議会、みやぎ小規模多機能型居宅介護連絡会、宮城労働局（以上 50音順）  
宮城県、宮城県教育委員会

### 2 本県の介護人材不足の状況

○県における介護職員数は30,931人（平成28年時点）。

○令和7年（2025年）には39,635人の介護職員が必要と推計され、介護職員の必要数（需給ギャップ）は、4,755人と見込まれることから、将来も見据えた介護人材の確保対策が重要である。

平成28年の 介護職員数		平成30年	平成31年	令和2年	令和7年
30,931人 <small>（介護サービス情報公表システムによる）</small>	需要（推計）数 （A）	33,348人	34,548人	35,865人	39,635人
	供給（推計）数 （B）	31,837人	32,425人	32,955人	34,880人
	差（（A）－（B））	1,511人	2,123人	2,910人	<b>4,755人</b>

資料：厚生労働省の介護人材需給推計ワークシートによる宮城県における推計値